



● 今月のご紹介者

ニシキ合金株式会社 代表取締役社長 高石 和幸 氏

『**失敗学 実践編**』 著／濱口哲也 平山貴之  
出版社／日科技連出版社



[ 概要 ]

失敗学では、動機的原因と不具合事象の関係を「ワナ」あるいは「失敗のカラクリ」と呼ぶ。最終的に起こる不具合事象はさまざまであるが、人間がハマるワナは業種や職種にかかわらず同じで、そのワナの種類はそれほど多くはない。だからこそ、過去に経験したワナや他分野で明らかになったワナから、自分野での未然防止ができるのである。前著『失敗学と創造学』で大反響を呼んだ著者が、さらに進化した実践的ノウハウを公開する。

**Q 1** : この本を手にとられたきっかけについて

ある講演会の教材として用いられていました。当社は単品オーダーで金型を製作・販売しており、「品質」は大きな課題です。繰り返し品質トラブルが発生した際には、数十年前からの手法「なぜなぜ分析」で原因究明をしています。受注生産を背景に毎回製作工程が変化していくなか、時代に即した品質管理と品質保証こそが工場のあるべき姿だと考えております。しかしながら、この「品質」への取り組みが個人スキルに止まり、会社全体で見ると別の社員が類似トラブルを起こしていることに疑問を感じていました。この失敗学の手法は今までと違った視点から始まることで、新鮮な視点によって問題の核心に迫れるのではないかと感じております。

**Q 2** : この本をお薦めしたい理由について

この本で定義されている「失敗」とは、「正しいことをしているつもり」です。失敗が起こる時

は、多くの場合は想定外ですので、未然防止が難しいとされています。しかし、「失敗から何を学び、何を得るか？」を意識することで、自身の財産になるはずで。これは単に仕事だけではなく、日常生活においても成功に導く指針となりえる可能性があるでしょう。私にとって、たいへんワクワクできる手法です。

**Q 3** : どういった方にお薦めしたいですか

失敗学については、術（すべ）と行動で対処できると感じていますので、業種を問わずすべての方に、ぜひお薦めしたいです。

ニシキ合金株式会社

本 社：大阪府貝塚市二色南町 3-9

資 本 金：1,000 万円

従業員数：80 名

事業内容：金型製作（飲料缶用プレス型）、各種耐摩耗工具（セラミック・超硬質合金・鋼）、剪断工具（超硬質合金・鋼）